

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 7月 1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673000107
法人名	医療法人 誠心会
事業所名	グループホームあったかハウス伊集院
所在地	鹿児島県日置市伊集院町下神殿1366-1 (電話)099-272-7577
自己評価作成日	平成23年4月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成23年5月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員のチームワークの良さと、自己研鑽欲の強さが特徴です。18名の入居者様とも「大家族」の様な感覚で、互いに支えあったり、教えて頂いたり出来る関係性が築けています。また「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」と言うあったかハウス全体の理念に基づいて、入居者様が自分のペースで、ゆったりと、楽しく毎日を過ごせるような環境作りに努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

木肌のぬくもりを感じさせる木造作りの建物は、木の香りに包まれ居心地よく明るく家庭的で、生活感や季節感が感じられる空間となっている。利用者が、和室やダイニングなど思い思いの場所でくつろげる配慮がなされ、落ち着いた雰囲気の内装が利用者や職員のゆとりにむずびついている。また、設立母体である医療法人は、病院を核として、養護老人ホームや介護老人保健施設などの施設を有し、利用者の立場に立った医療・福祉に積極的に取り組み、利用者や家族の安心感に結びついている。

## ○残存能力の向上

ホームは介護者主体ではなく、利用者が家庭的にいかにか気持ちよく過ごせるかを考えられ、オムツをなるべく使わない方針を掲げ、利用者の残存能力の向上を図るべく支援が行われている。

## ○医師の受診支援

毎週医師が来所し状況を確認の上、介護者と話し合い質の高い介護が行われている。

## ○職員と幹部職員の関係

家庭的な雰囲気がたまたまホーム内では職員の質の高さや意識の高さが窺え、幹部職員の職員に対するストレス解消や悩みに細かく対応している姿が感じ取れた。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りの後にスタッフ全員で理念や職員憲章を唱和し、確認しあうようにしています。	運営方針には「あったか地域であつたか交流」などの言葉を含み、地域に根ざしたサービスを意識できる内容が盛り込まれている。理念を掲示するとともに、朝礼にて具体的に話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に参加しているので地域の運動会に参加させてもらっています。	近所の方からの野菜の差し入れや、防災応援の協力体制もある。定期的に地域の方を招いて交流会を開いたり、町内会の催しごとに参加したり、散歩で出会う地域の方へのあいさつや声かけなどにより関係づくりに力を入れている。	
3	0	○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地元の中高生の職場体験や福祉体験の受入れを積極的に行なっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1度開催していますが毎回、民生委員、自治会長、地域包括支援センター、行政、御家族様代表の方々へ行事報告し意見を貰うようにしています。	2ヶ月に1回開催され、事業所行事等の報告のみではなく、出席者の意見や助言などがあり、有意義な会になっていることが議事録より確認できる。外部評価の取り組みでは参加者にコピーを配布し共有が図られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	福祉課の職員の方が時々、担当されている入居者様の現状を見に来て下さいます。	頻繁に市担当窓口や福祉事務所などへ事務手続きやその他の機会に訪問し、問題や事故や認定手続きなどの情報交換を行うなど、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティングで身体拘束について勉強しています。また身体拘束をしない介護を目指しています。	マニュアルを作成し研修を行い、身体拘束廃止に向けた改善計画を掲示している。玄関をはじめ各居室に鍵をかけた自由な暮らしの支援を職員の努力で実現している。職員は常に利用者の状態を把握し、外出される時にはさりげなくついて出たり、見守りを行っている。	
7	0	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会やミーティングを利用して虐待防止について理解浸透や遵守に向けた取り組みを行なっています。		
8	0	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	社協やその他機関の行なう権利擁護事業について知識習得に努め、対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	0	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間を十分にとって丁寧に説明しています。重度化や看取りについての対応、医療連携体制については詳しく説明し同意を得るようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、利用者本位の運営を心掛けています。利用者の不安、意見等は申し送りやミーティングで話し合い、日々のケアに活かしています。	第三者委員を設置し、定期的に家族会を開き、重要事項説明書に相談窓口を記載している。家族が意見や要望を表しやすいような工夫と配慮が感じられる。職員が苦情などを把握した時には苦情処理報告書やノートなどに記載し、職員間で情報を共有している。必要な場合は職員会議で話し合い、本人や家族に報告するなど速やかな解決を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングでスタッフの意見、要望を聞く時間を設けて話し合っています。	朝礼、勉強会、会議時に職員から運営に関する要望や意見を聞いている。管理者は気軽に声をかけやすい雰囲気づくりに心がけ、また悩みがありそうな職員には個別面談を行い問題解決を図っている。	
12	0	○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の急病や急な休みの時に代替りの職員が応援出来る様、柔軟なシフト体制がとれています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	0	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新入職員は、新人研修会を開きホーム内では毎月、勉強会を行なっています。県や事務所などから研修の案内が来るので出来るだけ職員が参加出来る様に機会を作っています。</p>		
14	0	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>相互訪問を行い、職員の意見や施設の雰囲気、日々のサービス等について意見交換したり、事業者同士、協力しながら質の向上に取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15	0	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接にて、本人様、御家族様の生活状況や困っている事、要望等をよく聴き話をすることで信頼関係作りに努めています。		
16	0	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様にとって今、何に困っているか話を十分に聞き、これまでの苦労や今までのサービス利用状況などを経緯について伺っています。		
17	0	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況等を確認し、改善に向けた支援の提案を考え出来る事はすぐに実行し早急な対応が必要な時には出来る限り柔軟な対応に努めています。		
18	0	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する、される側にとらわれずお互いが協力しながら、ゆったりとした生活が出来る様、声掛けや場面作りをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	0	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の様子、近況報告を兼ねて毎月のお便りの発送や面会時等に情報交換をしています。また年行事など案内を送り本人様と一緒に参加されています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	スタッフと共に家の様子を見に行ったりお墓参りやドライブに出掛けられたり御家族様と一緒に外泊される方もいらっしゃいます。	家族や本人とのふれあいや会話の中から、また相談受付表や面会簿を活用し、利用者を支えてくれていた人間関係を把握するよう努めている。馴染みの関係を継続できるように面会、電話の支援や、墓参りや馴染みの店への買い物などの外出支援を行っている。	
21	0	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや茶話会などで集まり利用者同士の関係が円滑になるように声掛けや機会、場面を作っています。		
22	0	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状や暑中見舞いの発送を行なったり時には御家族様から野菜等を届けて下さいます。また他の事業所へ移られた方の所へ仲の良かった入居者様と面会に行ったり御家族様には何か困った事などありましたらお気軽に御相談ください等、声掛けしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思疎通が困難な方には御家族様から情報や意向をお聞きするようし一人ひとりの健康状態等を考慮しながら行なっています。それぞれの居室でゆとりを持った会話をしその方の言葉や表情から真意をくみ取り確認するようにしています。	利用開始前に本人や家族、関係者からどのように暮らしたいかを聞き、アセスメントシートなどに記載し、介護計画に活かしている。入居後は日々のかかわりの中で本人の意向をくみ取り、ケア会議などの場で職員間の共有を図っている。	
24	0	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの経験や生活歴等を御家族様や御本人にお聞きしたり情報交換する事で自力で出来る事などはしていただいています。色々な会話などを増やしていき聞き入れる事で把握に努めています。		
25	0	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりのライフスタイルに合わせ例えば車椅子の方でも座って出来る作業（おしぼりたたみやお盆拭きなど）自立されている方には掃除やモップ掛けなどその方の現状を総合的に把握するように努力しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各入居者様ごとに担当者を決めて気付いた点を情報収集し毎日の申し送りやミーティングなどを通じ意見や要望、御本人の思いを聞き出し、御本人や御家族様に日頃より御意見や御要望などないかお聞きしてその方に合ったケアプランの作成をしています。	本人も参加した担当者会議を開き話し合いを行い、家族や主治医の意見を取り入れながら計画を作成している。また、スタッフ会議で介護支援専門員と職員が話し合い、介護計画を作成することで、職員はすべての利用者の介護計画を意識して日常の介護を行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	0	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	あったか独自のモニタリング表や申し送りで職員間の情報共有を徹底し食事や水分量、排泄状況や本人の行動などを記録し介護計画の見直しに役立てています。		
28	0	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者が安心して地域での暮らしが続けられるよう、御本人と地域との様々な接点を見出し生活できるよう、支援しています。		
29	0	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員さん、ボランティアの方々など行事の際はお招きし参加していただいています。近隣の中学生の職場体験や福祉体験も積極的に受け入れています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ゆのもと記念病院やまえはらリハビリクリニックと医療連携を図りながら常に状況報告に努め体調の変化を早期発見出来る様に支援しています。また協力医の他、入所前からのかかりつけ医での医療を受け入れられる様に御家族様と協力しています。	かかりつけ医は入居前からかかっている医療機関に本人や家族の意向を大切に決めていく。受診時も適切な治療がうけられるように受診記録等で情報提供に努めており、良い関係がつけられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	0	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	記録や報告書を元に協力医療機関と連携を取りながら週1回看護師さんも来所され様子を見に来てくださっています。必要な方は居宅療養管理指導も受けられています。		
32	0	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には面会に伺い1日にも早く元気になるよう声掛け等行なっています。早期退院について医療連携との話し合いもしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りに伴う意思確認書を作成し事業所が対応し得る最大限のケアについて主治医、御家族、看護師を交えて話し合いを行なっています。状態の変化がある毎に御家族の気持ちの変化や思いに注意を払い支援につなげています。	本人やご家族の意向を大切にしており、協力医療機関との連携協力のもとで、現在事業所で対応できることを十分に本人・ご家族に説明を行い周知を図っている。	
34	0	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の協力を得て応急手当や普通救命講習を受講しています。救急マニュアルもあり、夜間も対応できるように職員の周知徹底を行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回火災などの想定で消防署の協力のもと、防火訓練を行なっています。又、災害に備え食料・飲料水などの物品を準備し消火器、避難路の確保のチェックを定期的に行なっています。	定期的に避難訓練や消火訓練を行うとともに、マニュアルを作成し研修にも取り組んでいる。地域住民には、呼び掛けた結果協力して災害対策を行う体制を整えている。ただ、夜間体制の避難訓練を毎年実施している確認ができなかった。	今後は毎年夜間体制での避難訓練を行っていく意向である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりにあった声掛けや対応を行い、入居者様の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っています。	玄関に事業所の方針を掲示し、利用者への言葉かけは自己決定しやすいように、誇りやプライバシーを損ねないように心がけている。また、記録等は事務室の棚に保管し外来者の目につかないように配慮している。	
37	0	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入居者様に声掛けを行い、御希望伺い食事の献立やどんな事をして過ごしたいか等御本人が決める場面を作っています。		
38	0	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調に配慮しながらその日、その時の本人の気持ちを尊重して希望に沿った支援をしています。		
39	0	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者様の御要望に合わせて地域的美容院の方に来て頂き、散髪していただいています。御家族様より洋服等頂いた際、その洋服を着て頂いて外出されています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様一人ひとりの好き嫌いを考慮し食べたい物をお聞きし調理しています。また食材の皮むきや茶碗拭きなど一緒にしています。	メニューは利用者とテレビや料理本を見ながら決め、食事の希望や食欲を引き出す工夫をしている。差し入れられた旬の食材を利用したり、配膳・下膳を一緒に行うことで食への関心を持ってもらい、食事は職員も一緒に会話を楽しみながらとっている。また、食事前に嚥下体操を行ったり、時には外食をするなど食の楽しみの支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	0	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの嗜好を把握しそれぞれに合わせた献立を考えています。食事量や水分量をチェック表に記録しています。		
42	0	○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりに声掛けし必要な方には介助を行ないながら口腔ケアをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎朝、オムツ使用の方もトイレやポータブルトイレにて排泄を促し少しずつ自立に向けた支援を行なっています。リハビリパンツ使用の方も尿意を訴えられない方もいる為、時間を決め誘導介助を行なっています。	時間単位の排泄チェック表を作成し、本人の生活リズムを時間単位で把握するように努めている。排泄の自立支援へむけて介護が行われた結果、オムツが外れた利用者の例もある。	
44	0	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	肉や野菜を取り入れ水分も小まめに摂るよう声掛けしレクリエーション等で体を動かすよう促し便秘予防に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴の声掛けを行い、希望に合わせて入浴をしていただいています。	体調や希望により入浴やシャワーなどの対応ができる。入浴を嫌われる方にはできるだけ声かけなど気持ちよく楽しめる工夫がされている。	
46	0	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの入居者様の様子を常に目配り気配りで観察しながら今どうしたら一番良いか等、考えて支援しています。		
47	0	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬介助の時には名前の確認を複数の職員で行なうようにしています。勉強会にて薬の目的や副作用、用法等を職員全員で周知徹底しわからない事がある時には協力医の薬剤師の方に連絡し教えていただいています。		
48	0	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーション等の中に取り入れ、個々の話や昔話を聞いたりして今までの事を思い出していただく事により生き生きと話して下さいます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	玄関をいつでも開けて戸外に出て外気浴等、職員の見守りの中されています。地域の見守りの中されています。地域の方々やボランティアの方々の協力を頂きながら出来るだけご本人の希望に添えるよう努力しています。	自家菜園や花壇が設置された敷地では、天気の良い日は日常的に手入れや収穫作業や、お茶会、花見や外気浴が行われている。また、本人の希望に応じて外食、買い物、ドライブ、墓参りなど戸外に出かけられるように配慮し、気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として外出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	0	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族様の協力を得てお金をお預りし入居者様には本人のお金がある事を話し、欲しい物がある時、希望の品を買い物して来ています。本人が同行される場合もあります。必要な物がある場合、個々に訴えて下さい。		
51	0	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎月のお便りでこちらの様子をお伝えしています。そうする事で御家族様より電話があり話をされています。また希望時にはこちらからも御家族様に電話を掛けたりもされています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	年間を通して月々のカレンダーを職員が手作りし季節を感じていただける様、工夫しています。またテーブルには季節の花を飾り今の時期に咲いている事を伝え目で楽しんで頂いています。毎日の温度、湿度をチェックし調整しています。	敷地にはよく手入れされた自家菜園があり、広く開放感がある。室内の共有空間には絵画や季節感のある手作りの飾りが飾られており、リビングなどでは思い思いにくつろぐことができるスペースが確保されている。リビングには天窓があり日差しが差し込みとても明るく、また家庭的な心やすらぐ雰囲気はただよい、居心地のよい空間となっている。	
53	0	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	大き目のテーブルを囲み談話されています。またフロアにソファを置き誰でもゆっくり座って頂いています。また談話室も開放してありゆっくりしたスペースもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁飾りをしたり日々の生活の写真も飾って差し上げています。	家族とも相談し、一人ひとりの希望や状況に応じて写真、テレビ、冷蔵庫、ラジオ、ぬいぐるみなど馴染みのある物が持ち込まれ、本人が落ち着く居心地のよい空間となっている。	
55	0	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の部屋での生活の見守りをし、また御本人了解のもと、扉を開けての見守りを続けています。日常の声掛けが常に必要で様子を知っておくべきである。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りで一緒に唱和したりミーティング時に理念を再確認するようにしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	3ヶ月に1回、地域交流会を開き入居者様と交流していただいています。また地域の運動会等の行事にも参加させていただき交流しています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の中学校の職場体験や福祉体験、高校の実習等を受け入れたり見学に来られた地域の方には説明をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の運営推進会議で取り上げられた検討事項や懸案事項についてその経過を話し合っています。参加メンバーからの要望、意見などお聞きしサービスの向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行事や地域交流会の度に社会福祉協議会の協力を頂きボランティアとしての手伝いや余興としての歌や踊りをさせていただき皆様に喜んで頂いています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月1回ミーティング時や毎日の申し送りの時に身体拘束について話し合い、自覚しない身体拘束が行なわれていないかなど職員の共有意識を図っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティング時や申し送り時に虐待防止について話し合い、言葉使いや態度について等、サービスの質が低下していないか確認しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会などで学んだり成年後見制度が必要なケースの場合、その都度、職員の理解を深めるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、重要事項等の説明を丁寧に行い、利用料金や起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携などについて説明し御本人や御家族様の同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の言葉や態度からその思いを察する様努力しています。ご家族様には家族会や面会時等に何でも言って貰えるような雰囲気作りに留意しています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回ミーティングを行い、意見の交換を行なっています。また日頃から何でも話しやすい環境づくりに努めています。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	会議等を通じ、功労のあった職員を把握し、適時に昇格等の検討を行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>開催される研修にはなるべく多くの職員が受講できるようにしています。また、それらの研修報告書を全職員が閲覧できるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連の事業所や同時期に開所した事業所などと交流を持つことによりサービスの質の向上を目指しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御本人の要望等を事前にお聞きし、出来る限り実現に向けて取り組み、御本人との信頼関係を築いていけるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安な事や要望等を事前にお聞きしそれに沿ったサービスを提供し御家族様との信頼関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人と御家族様からの情報収集をしっかりと行い、今、必要なサービスは何かを明確にし他のサービス利用も交えてサービスを提供できる様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりを尊重し対等な立場で接し、職員も御本人も支えあう関係を築いていけるよう努めています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお便り、あったか便りの発送、花見、夕涼み会への参加をして頂き、お互いの情報交換を行い安心して生活していただける様に心掛けています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族様だけでなく近所の方々、地域交流会や花見等の際にボランティアの方々と一緒に食事やお茶のみをしています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	天気のいい日には皆さんと外気浴をしたり、食事の時はエプロンをつけていただいたり入居者様同士の関係がうまくいくように見守りしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状や暑中見舞い、あったか便り等の発送を行ったりしています。また退所された御家族様より今でも作っておられる野菜を頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々一人ひとりの表情、言葉などから把握に努めています。意思疎通が困難な方には御家族様や関係者から情報を得るようにしています。御家族様からの情報を職員で共有し希望に沿った支援が出来る様に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その方独自の生活歴を御本人、御家族様にお聞きしサービス利用の経過などを把握するようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを理解すると共に生活、心理的な面からも現状を総合的に把握するように努めています。(おしぼりたたみ、洗濯物たたみ等)		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各入居者様ごとに担当者を決め情報収集に努め、毎日の申し送りやミーティングなどで御本人や御家族様からの意見や要望をお聞きした事を話し合い、その方に合った介護計画の作成をしています。入居者様が自分らしく暮らせるように御本人や御家族様の要望や意見を介護計画の中に取り組みんでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを用意しモニタリング、バイタル表、介護記録を作り日々の様子や言葉等を記入し全ての職員が確認できるようにしています。また記録を元に介護計画の見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人の状況に応じて御家族様にも御協力いただき個々の満足度を高めるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様が安心して暮らせるように民生委員さんと意見交換したり御本人と地域の方達との接点を見出しボランティア等の協力を呼びかけています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ゆのもと記念病院、まえはらリハビリクリニックと医療連携を図っています。入所前からのかかりつけ医がいる入居者様には御家族様と協力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回看護師さんが来訪し日常の健康状態を報告、相談をし医療面での助言を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には御本人の状況や支援方法などを医療機関に情報提供しています。職員がお見舞いに行き早期退院になるよう声掛けしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医、御家族様、職員が連携を取り安心して納得した最期を迎えられるように意思を確認しながら支援していきます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会の時に急変時や応急手当の訓練を定期的に行なっています。消防署の方の協力を得て救急救命講習も参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防訓練を実施し地域の方々にも参加して頂き、災害時の対応方法を身につけるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員よりも年上の方々なので一人ひとりを尊重し、言葉使いや話し方にも気をつけるようしています。またプライバシーの配慮にも気をつけるよう努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かを実施する時には御本人の意向を聞いたり、自己決定が出来る様な環境づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	流れに沿った対応をするのではなく御本人のペースに最大限合わせ御本人の希望に沿った生活を送れる様に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の着る服をお聞きして決めたり、整容、整髪を御本人に合わせて支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好き嫌いを職員は把握しメニューに取り入れています。御本人が出来る事を見極め食後の片付け（お盆拭きなど）を手伝っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し職員が情報を共有しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯みがきの声掛けを行い力に応じて職員が見守ったり介助を行なっています。就寝前は義歯を預かりポリデント消毒を行なっています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ使用の入居者様にも排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行なっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や乳製品を取り入れ運動を働きかける事で自然な排便が出来る様、取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	職員が一方的に決めず入居者様のその日の希望に合わせて入って頂いています。入浴を拒否される入居者様にも安心して入っていただける様、声掛けなどを工夫しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の個人の疲れ具合に合わせて休息を取り入れ、夜間寝付けない時には温かい飲み物を出す等し支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員一人ひとりが処方箋に目を通して薬の内容を把握し状態変化が見られる時は医療連携を図れるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の出来そうな仕事を御願いしていただいています。また今までに培ってきた経験や知恵を活かせる場を提供するよう努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外に出る事によって季節を肌で感じる事ができ、歩行困難な方でも車や車椅子を利用し、外へ出掛けられる様、支援しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	御家族様と相談しながら少額を所持していただいたり買い物に行く時には御本人が支払えるように支援しています。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	御希望があれば電話の取次ぎの支援をしたり年賀状や暑中見舞い、お礼状など自筆や代筆などで出せるよう支援しています。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	玄関やテーブルには季節の花を飾り、壁面の飾りにも季節感を取り入れています。お風呂やトイレも場所がわかるよう表示し混乱しないように工夫しています。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	玄関先や玄関内にも椅子やソファを置き寛げるようにしています。談話室にもソファやテレビを置き、一人になれるスペースも作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から使っている毛布や写真や日用品を御家族様に持ってきていただき御本人が過ごしやすい様に配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様一人ひとりの個性を全員が理解し入居者様が混乱や不安が生じた場合は職員一同で話し合いをし改善するようにしています。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない